

令和4年2月15日

お客様各位

日本化薬株式会社  
アグロ事業部

「マトリック®フロアブル」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、ご愛顧いただいております殺虫剤「マトリック®フロアブル」(登録番号第20309号)が令和4年2月9日付で登録内容変更(使用方法の追加・変更)となりましたので、お知らせいたします。

変更後も引き続き、「マトリック®フロアブル」をご愛顧いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

登録番号	農薬名(商品名)	農薬の種類名
第20309号	マトリックフロアブル	クロマフェノジド水和剤
		マトリックは日本化薬(株)の登録商標

■変更内容

以下のとおり「使用方法」等の追加・変更により、「適用害虫の範囲及び使用方法」の登録内容、及び注意事項が変更となりました。変更後の内容につきましては、別紙をご参照ください。

- (1) 作物名「だいず」の使用方法「無人ヘリコプターによる散布」を「無人航空機による散布」に変更する。
- (2) 作物名「稲」の使用方法「無人ヘリコプターによる散布」を「無人航空機による散布」に変更する。
- (3) 作物名「しょうが」、適用病害虫名「ハスモンヨトウ」に希釈倍数「16倍」、散布液量「3.2ℓ/10a」、使用方法「無人航空機による散布」を追加する。

■本剤に関するお問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬㈱ アグロ事業部 営業部 マーケティング担当

電話：03-6731-5321 FAX：050-3730-7867

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

日本化薬株式会社

別紙

変更後の適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロマフェジド <sup>®</sup> を含む農薬の総使用回数		
りんご	—	ケムシ類 ヨモギエダシヤク	2000倍	200～700 ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内		
なし		ハマキムシ類	1000～2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内		
おうとう		ケムシ類	2000倍		収穫14日前まで					
グアバ(果実)		ハマキムシ類	1000～2000倍		収穫前日まで					
もも		モモハダカ <sup>®</sup>	1000倍	収穫前日まで						
うめ		モンクロナヤチホコ	2000倍	収穫3日前まで						
メロン		ウリノメイガ <sup>®</sup>		収穫前日まで						
きゅうり		ヨトウムシ	1000～2000倍	収穫前日まで	4回以内	3回以内			4回以内	
はくさい				100～300 ℓ/10a					収穫7日前まで	
ブロッコリー		ヨトウムシ	2000倍	収穫前日まで	3回以内				3回以内	
だいこん		ハイマダ <sup>®</sup> ラノメイガ <sup>®</sup>		1000～2000倍			収穫7日前まで			
レタス		ハスモンヨトウ	2000倍	収穫21日前まで						
非結球レタス		オオタバコガ <sup>®</sup>		1000～2000倍						
ねぎ		シロイモジ <sup>®</sup> ヨトウ	1000～2000倍	100～200 ℓ/10a	収穫7日前まで		3回以内	3回以内		
わけぎ				100～300 ℓ/10a						
あさつき		ハスモンヨトウ	2000～3000倍	800ml/10a	収穫前日まで		無人 航空機に よる散布			
ほうれんそう										8～16倍
だいず		コバ <sup>®</sup> ノメイガ <sup>®</sup>	1000倍	100～200 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人 航空機に よる散布			2回以内
稲			16倍	800ml/10a						
なす		ハスモンヨトウ	2000倍	100～300 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布		3回以内	
トマト	オオタバコガ <sup>®</sup>	1000～2000倍	収穫7日前まで							
ミニトマト			収穫前日まで							
ピーマン			収穫前日まで							
ししとう			収穫7日前まで							
いちご	ハスモンヨトウ	2000倍	4回以内		4回以内	4回以内				
キャベツ	ハスモンヨトウ									
非結球あぶら な科葉菜類	ハイマダ <sup>®</sup> ラノメイガ <sup>®</sup>	2000倍	3回以内		3回以内	3回以内				
しそ	ヨトウムシ類									
みつば	ハスモンヨトウ	2000倍	2回以内		収穫7日前まで	2回以内		2回以内		
せり				ただし、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで 収穫7日前まで						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロマフェノジドを含む農薬の総使用回数								
せり(水耕栽培)	ガラス室等の温室	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内								
バセリ					3回以内	3回以内										
オクラ					収穫前日まで	2回以内		2回以内								
はすいも(葉柄)						3回以内		3回以内								
さやえんどう 実えんどう						3回以内		3回以内								
えだまめ	2000~3000倍	3回以内	3回以内													
てんさい	-	ヨトウムシ	1000~2000倍	100~150 ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	4回以内									
しょうが		ハスモンヨトウ			16倍	100~300 ℓ/10a	3.2 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布						
											3回以内	3回以内				
											3回以内	3回以内				
未成熟とうもろこし		アヲメイガ			2000倍	100~300 ℓ/10a	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内						
やまのいも	ハスモンヨトウ	1000~2000倍	200~400 ℓ/10a	摘採7日前まで							2回以内	2回以内				
みずいも													2000倍	200~400 ℓ/10a	2回以内	2回以内
さといも													1000倍	200~400 ℓ/10a	2回以内	2回以内
かんしょ													1000倍	200~400 ℓ/10a	2回以内	2回以内
茶	チャノカクモシハマキ チャノホツガ	1000~2000倍	200~400 ℓ/10a	摘採7日前まで	2回以内	2回以内										
きく	-	ハスモンヨトウ	2000倍	100~300 ℓ/10a	発生初期	4回以内	4回以内									
		シロイモジヨトウ						4回以内	4回以内							
トルコギキョウ	シロイモジヨトウ	2000倍	2000倍	100~300 ℓ/10a	発生初期	4回以内	4回以内									
樹木類	-	ケムシ類	-	-	-	5回以内	5回以内									

変更後の使用上の注意事項

- (1) 散布液調製時には、容器をよく振とうすること。
- (2) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および栽培方法に合わせ調製すること。
- (3) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合はさらに次の注意を守ること。
  - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ② 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ③ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ④ 水源地、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散流入しないよう十分注意すること。
  - ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
    - a) 使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使いきること。
    - b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないこと。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (4) 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (5) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。
- (6) 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。